

## 第6回委員会会議結果概要(案)

開催概要	
日時	平成25年3月19日(木) 17時00分～19時00分
場所	千葉県国際総合水泳場 会議室
参加者数	32名
出席委員	8名(◎遠藤茂勝、工藤盛徳、榊山勉、及川七之助、澤田洋一、松本好司、歌代素克、佐々木洋晃)◎：委員長
結果要旨	
◇報告事項	
○1 第5回護岸整備委員会の開催結果概要	
事務局から資料1により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・特になし	
◇議題	
○1) 1丁目護岸工事着手から1年2か月後の検証評価	
事務局から資料2により説明後、質疑応答。	
〈防護〉⇒目標達成基準「後背地の安全を確保」とするための	
指標「緊急対応」が92%に(52%→92%)	
指標「耐震」が73%に(8%→73%)	
指標「越波低減」が6%に(0%→6%)	
〈環境〉⇒①目標達成基準「現状の護岸部潮間帯の生物群集が再定着」	
捨石工で潮間帯生物の再定着によりハビタットの基盤が概ね形成されていることが確認されおり、想定と大きなずれは確認されなかった。	
②目標達成基準「周辺海域に洗掘等の著しい変化が生じないこと」	
現在まで著しい変化は生じていない。	
③底質(粒度)に関する検証基準「泥分の割合が30%を超えないこと」	
現在まで著しい変化は生じていない。	
[主な意見及び対応]	
・資料の中で、シルト分が増えている箇所があるが、原因を明確にしておく必要がある。	
⇒工事時に設置したシルトフェンスによるものと思われます。	
(事務局)	
・地形の変化は短期的な期間で判断しない方がよい。	
・親水テラスの転落防止については、景色の見やすさにもっと配慮すべきではないか。	
⇒維持管理性能、及び安全性の観点から簡単に乗り越えやすい構造のものとしなないということを重視して、現在の構造としております。	
(事務局)	
裏面に続く	

## ○2) 平成25年度の事業計画

事務局から資料3により説明後、質疑応答。

### [主な意見及び対応]

- ・特になし

## ○3) 2丁目護岸(市川市所有地前面)の改修について

事務局から資料4により説明後、質疑応答。

### [主な意見及び対応]

- ・漁業者としては、湾曲案では土砂が海に流れだすことがあるので、現在の護岸を延長する形がよい。
- ・湾曲案で行うと、背後に高架線があり高さ9m位の堤防を作らなくてはならないので、直線案がよい。
- ・湾曲案の場合は、海岸保全区域の変更が必要となり、区域変更に時間を要することが考えられることから、検討のポイントに海岸保全区域の変更に関する項目を追加した方がよい。

## ◇その他

### ○3丁目護岸の整備について

#### [主な意見及び対応]

- ・3丁目護岸についても、継続してやっていただくという理解でよいか。

⇒3丁目護岸については、護岸の健全度調査を実施したところであるので、その調査結果をみて緊急性を判断したい。

(事務局)

以 上